

## 2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	英語2(国際臨床学含む)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 月曜日1,2限	教室名	801,802
担 当 教 員	重松康之	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
近年は国際交流がますます盛んになる中で、英語によるコミュニケーション能力が求められている。アメリカでの研修を通して、生きた英会話力を養い、国際社会に対応できる感覚を身につけることを目標とする。						
《成績評価の方法と基準》						
研修中の態度、レポートを総合して評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布テキスト						
《授業外における学習方法》						
学生発表や文化交流など研修に必要な事前準備をする。自己紹介など日常会話に必要な簡単な英会話を身につけておく。						
《履修に当たっての留意点》						
積極的に現地の人とコミュニケーションを図って欲しい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	現地の講師による講義を受け、講義内容を理解することができる。	配布テキスト		配布テキストを熟読する
		各コマにおける授業予定	臨床検査に関する講義			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	現地の講師による講義を受け、講義内容を理解することができる。	配布テキスト		配布テキストを熟読する
		各コマにおける授業予定	臨床検査に関する講義			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	現地の講師による講義を受け、講義内容を理解することができる。	配布テキスト		配布テキストを熟読する
		各コマにおける授業予定	臨床検査に関する講義			
第4回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	現地での病理学or血液学実習を通して手技を習得し、アメリカの臨床検査の実状を理解できるようになる。	配布テキスト		配布テキストを熟読する 病理学実習or血液学実習手順を復習する
		各コマにおける授業予定	病理学or血液学実習			
第5回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	現地での病理学or血液学実習を通して手技を習得し、アメリカの臨床検査の実状を理解できるようになる。	配布テキスト		配布テキストを熟読する 病理学実習or血液学実習手順を復習する
		各コマにおける授業予定	病理学or血液学実習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	現地での病理学or血液学実習を通して手技を習得し、アメリカの臨床検査の実状を理解できるようになる。	配布テキスト	配布テキストを熟読する 病理学実習or血液学実習手順を復習する
		各コマにおける授業予定	病理学or血液学実習		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	日常生活に必要な英会話を習得し、英語でコミュニケーションを取ることができるようになる。	配布プリント	配布テキストを熟読する
		各コマにおける授業予定	日常生活で使用する英会話		
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	日常生活に必要な英会話を習得し、英語でコミュニケーションを取ることができるようになる。	配布テキスト	配布テキストを熟読する
		各コマにおける授業予定	日常生活で使用する英会話		
第9回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	研究発表を通して、日本とアメリカの医療の実状を理解できるようになる。	配布テキスト	発表スライドを作成する 配布テキストを熟読する
		各コマにおける授業予定	日本とアメリカの学生による研究発表		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究発表を通して、日本とアメリカの医療の実状を理解できるようになる。	配布テキスト	発表スライドを作成する 配布テキストを熟読する
		各コマにおける授業予定	日本とアメリカの学生による研究発表		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究発表を通して、日本とアメリカの医療の実状を理解できるようになる。	配布テキスト	発表スライドを作成する 配布テキストを熟読する
		各コマにおける授業予定	日本とアメリカの学生による研究発表		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究発表を通して、日本とアメリカの医療の実状を理解できるようになる。	配布テキスト	発表スライドを作成する 配布テキストを熟読する
		各コマにおける授業予定	日本とアメリカの学生による研究発表		
第13回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	文化交流を通してアメリカ文化に触れ、現地の人とコミュニケーションを取ることができるようになる。	配布テキスト	日本文化の紹介の準備と役割を決める 配布テキストを熟読する
		各コマにおける授業予定	日本とアメリカの学生による文化交流		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	文化交流を通してアメリカ文化に触れ、現地の人とコミュニケーションを取ることができるようになる。	配布テキスト	日本文化の紹介の準備と役割を決める 配布テキストを熟読する
		各コマにおける授業予定	日本とアメリカの学生による文化交流		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	文化交流を通してアメリカ文化に触れ、現地の人とコミュニケーションを取ることができるようになる。	配布テキスト	日本文化の紹介の準備と役割を決める 配布テキストを熟読する
		各コマにおける授業予定	日本とアメリカの学生による文化交流		

## 2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	英語2(国際臨床学含む)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 月曜日1,2限	教室名	801802
担 当 教 員	重松康之	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
近年は国際交流がますます盛んになる中で、英語によるコミュニケーション能力が求められている。アメリカでの研修を通して、生きた英会話を養い、国際社会に対応できる感覚を身につけることを目標とする。						
《成績評価の方法と基準》						
研修中の態度、レポートを総合して評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布テキスト						
《授業外における学習方法》						
学生発表や文化交流など研修に必要な事前準備をする。自己紹介など日常会話に必要な簡単な英会話を身につけておく。						
《履修に当たっての留意点》						
積極的に現地の人とコミュニケーションを図って欲しい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	アメリカの医療施設を見学し、アメリカの臨床検査の実状を知ること、日本との類似点や相違点を理解することができる。	配布テキスト	配布テキストを熟読する	
		各コマに おける 授業予定	医療施設の見学			
第 17 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	アメリカの医療施設を見学し、アメリカの臨床検査の実状を知ること、日本との類似点や相違点を理解することができる。	配布テキスト	配布テキストを熟読する	
		各コマに おける 授業予定	医療施設の見学			
第 18 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	アメリカの医療施設を見学し、アメリカの臨床検査の実状を知ること、日本との類似点や相違点を理解することができる。	配布テキスト	配布テキストを熟読する	
		各コマに おける 授業予定	医療施設の見学			
第 19 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	アメリカの医療施設を見学し、アメリカの臨床検査の実状を知ること、日本との類似点や相違点を理解することができる。	配布テキスト	配布テキストを熟読する	
		各コマに おける 授業予定	医療施設の見学			
第 20 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	アメリカの医療施設を見学し、アメリカの臨床検査の実状を知ること、日本との類似点や相違点を理解することができる。	配布テキスト	配布テキストを熟読する	
		各コマに おける 授業予定	医療施設の見学			